



知床科学委員会 しんぶん

エゾシカ・陸上生態系 ワーキンググループ NO. 3



「知床で今何が起きているの!」「どんな調査が行われているの!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

エゾシカ・陸上生態系 ワーキンググループって?

知床半島で、エゾシカや陸上生態系の管理をどのように進めるのか議論するための会議です。

この会議での意見をもとに、さまざまな事業が進められています。

今回の会議

6月23日(土) 斜里町役場大会議室で今年度第1回目の会議がありました。

6月24日(日)
知床岬地区の現地視察をおこないました。

必見! TOPIC

この冬は何頭のシカを獲ったの?

道路通行規制にご協力いただき、ありがとうございました。



遺産地域内では、エゾシカの増加による生態系への影響が見られはじめています。

環境省は生態系の保全を目的に、関係機関と連携しシカの捕獲事業を行っています。昨シーズン(平成24年1月~5月)は“知床岬地区”と“ルサ-相泊地区”に加え、新たに“幌別-岩尾別地区”での捕獲も開始し、合計856頭のシカを捕獲しました。

※遺産地域の隣接地域では鳥獣被害防止のためH23年4月~H24年5月の期間に、合計732頭が捕獲されました。(林野庁96頭、斜里町380頭、羅臼町256頭)

捕獲したシカの多くは食肉などに有効利用されます。

4つの捕獲方法を試し、どうすればたくさんとれるか考えました。



**流し猟式
シャープシューティング**
道路沿いに餌をまいておびき寄せたシカを、車で移動しながら狙撃する方法です。(場所:②、③)



巻狩り
15~30名で隊列を組みシカを追いこんで捕獲する方法です。知床岬地区では昨年に設置された仕切り柵を利用しました。(場所:①、②)



囲いわな
柵の中に餌をおいてシカをおびき寄せ、ゲートを閉めてシカを捕獲する方法です。(場所:②、③)



くくりわな
バネとワイヤーでできたシンプルな仕組みのわなで、シカが踏むとバネが作動し、ワイヤーで足を固定して動けなくします。シカの通り道に設置します。(場所:③)

ココを踏むとワイヤーが縮まります

今回話し合ったこと

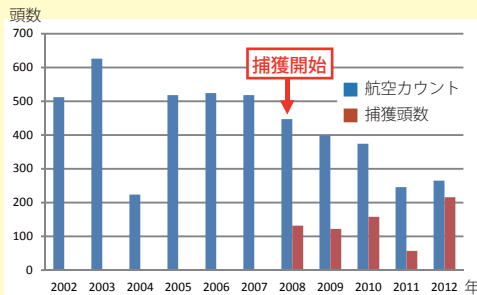
- ① 昨シーズンのシカに係わる事業の経過と今シーズンの計画
- ② シカによる植生への影響を評価する指標の開発
- ③ 世界遺産地域周辺部等におけるシカ管理方針
- ④ 今シーズンのモニタリング調査と長期モニタリング計画



現地視察〜知床岬の今〜

知床岬地区では、昨夏に、シカを逃がさず効率的に捕獲するための「仕切り柵」を設置しました。これを使って巻狩りを行ったところ、生息数265頭のうち216頭、8割以上のシカを捕獲することができました。平成19年に捕獲を開始してから5年間で合計685頭を捕獲しましたが、この冬の捕獲数は5年間で最も多く、仕切り柵によって捕獲の効率が向上したといえます。

冬の知床岬にはシカが食べ物を探して集まります。



※航空カウントの頭数は、その年の捕獲を行う前のもの。



遺産地域内でのシカ捕獲が本格化

昨シーズンは裏面のとおり各地区でいくつかの手法でシカの捕獲を行い、各手法の長所と短所、捕獲の効率性が確かめられました。例えば囲いなどはシカを同時に複数捕

獲できますが、設置にコストがかかることや餌付けなどに手間がかかります。逆にくりわなは設置のコストがあまりかかりませんが、点検の手間の割に捕獲効率はあまり高くありません。

知床岬の仕切り柵を確認する委員



毎冬飛行機からシカの数を数えています。捕獲によって生息数が年々減少していることがわかりました。シカが減ったことによりシカの食べ物である植物はどうなつたでしょうか？

24日の現地視察では、イネ科の植物が増えたことなど植生が回復傾向にあり、5年間の捕獲の成果が確認されました。

会議ではこれらの計画に対し、各手法の捕獲効率を最大限に高めるため、適期に捕獲を実施することや、冬期観光利用との調整が重要であるとの意見が出されました。

委員の日浦です。



苫小牧研究林での大規模野外実験や、全国の森林生態系の比較研究を行っています。

生態系には生産者―分解者―消費者と、それを支える資源が不可欠です。先日約30年ぶりに知床岬に上陸し、学生時代に見た景観から劇的に変化していたことに驚くと共に、このような生態系の長期変化を定量的に記述するデータの重要性を改めて痛感しました。知床のダイナミックな自然を理解することに少しでも貢献できればと思います。

委員 日浦 勉

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

他にも知床で行われている様々な研究データをご覧いただけます！



■問合せ先■
 環境省釧路自然環境事務所
 〒085-8639
 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階
 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575